

熊井の森通信

発行/熊井の森トラスト基金

〒350-0314 埼玉県比企郡鳩山町
楓ヶ丘2-2-1 かわせみハウス
NPO法人はとやま環境フォーラム気付
メール kawasemi3001@gmail.com

☎049-227-3001 FAX 049-227-3068 ホームページ <https://hatoyama.info/>

6月・7月の活動予定

■「アンズジャム作り」が好評 早めに申し込みを



**あんず畑見学
あんずジャム作り
体験**

6.14 土 9:30-13:00

美味しさいっぱいフレッシュなあんずを使ってジャムを作ります。出来上がったジャムは瓶詰めしてお持ち帰りしていただきます。他に、あんず畑の見学や、出来立てのあんずジャムをパンやヨーグルト、紅茶と一緒に味わう軽食のお時間もご用意しております。

会場 鳩山町泉井交流体験エリア 加工体験室
埼玉県比企郡鳩山町泉井524-1

定員 15名 **参加費** 一人3,000円 **対象** 小学生高学年以上

**申し込み
お問い合わせ** 5月5日(祝・月)～申し込み開始
NPO法人はとやま環境フォーラムまでお電話、
もしくはメールにてお申込みください。
☎049-227-3001
kawasemi3001@gmail.com

【会場アクセス】
・電車・バスをご利用の方
東武東上線「高坂駅」西口→鳩山町宮路線バス8:15発「上熊井・越生駅方面行」
「泉井」下車すぐ
・車をご利用の方
関越自動車道 坂戸西スマートインターチェンジからおよそ20分(8.5km)

NPO法人はとやま環境フォーラム/熊井の森トラスト基金
【共催】 鳩山町泉井交流体験エリア 指定管理者



題提供してもらいますので、訊きたいことや、いいアイデアなどがありましたらお聞かせください。

また、当日、新規購入の微粉砕機を使って開発中のはと麦試作商品の試食試飲もします。ぜひお越しください。皆さんの感想を元にもっといいものに仕上げていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

■ハト麦栽培・協生農園の畑仕事にご協力を

種まきや草刈り、畝上げなど6月は畑仕事に追われます。6月6日(金)は草取り作業を行う予定。天気との関係で当日にならないと確かなことは言えませんが、毎月第1金曜日午前9時から何らかの作業をします。手伝っていただける方は、LINEの「FF共同農園」にご登録ください。随時、畑作業の日程をアップしますので、都合が付いたら助っ人をよろしくお願いいたします。

6月14日(土)午前9時より、泉井交流体験館の調理室でアンズジャム作りイベントを開催します。今回は、体験館から歩いてすぐのアンズ畑を見学できるよう、手配をしています。アンズ人気は予想通り高く、定員15名ですが、すでに9人の申込みがあり好評です。お知り合いで、アンズジャム作りをやってみたいという方がいらっしゃいましたら、お早めにお申し込みください。

■第2回「会員のつどい」でツリーハウスを話題に

6月22日(日)午後1時から3時まで、かわせみハウスで第2回の「会員のつどい」を開催します。会員同士の気さくな親睦の集いとして、毎月第4日曜日の午後に関くもので、特に決まった話し合いテーマはありません。今回は、いま進行している「ツリーハウスづくり」のことを話

6月・7月 活動スケジュール

6月	1日(日)	午前8時～	資源回収
	4日(水)	午前9時～	ハト麦作業
	14日(土)	午前9時～	アンズジャム作りイベント
	15日(日)	午前9時半～	理事会
		午後1時半～	観察会
	22日(日)	午後1時～	会員のつどい
	24日(火)	午前10時～	通信43号発行
	28日(土)	午後7時～	ホテル観察会(協力)
7月	4日(金)	午前9時～	ハト麦作業
	6日(日)	午前8時～	資源回収
	20日(日)	午前9時半～	理事会
		午後1時半～	観察会
	27日(日)	午後1時～	会員のつどい
	29日(火)	午前10時～	通信44号発行

5月の活動報告

■草刈り、草刈り、そして草刈り

5月5日（こどもの日）午後1時より、FF1号地共同菜園の周りの草刈り、続いて野鳥観察舎前の山道とツリーハウス予定地の草刈り。隈本さんが共同菜園で初畑仕事。9日（金）と13日（火）はFF2号地の畑周りとはピザ窯下と辻川土手の草刈り。14日（水）にはFF1号地の畑の周りとは野鳥観察舎前の畑の草刈り。22日（木）はピザ窯周りの草刈りとエコフェスタ会場となるかわせみハウス前の緑道の草刈り。まだまだ続くぞ、草刈り隊、頑張ろう！

■ハト麦栽培面積倍増目指して畝づくりと種まき



▲種まき作業を終えて

5月9日（金）薄日さす絶好の農作業日。去年栽培した耕地面積の2倍を目指して、6人で種まき作業を始めた。今年の種まきは、昨年までの苗を育てて植えつけるのではなく、地面に直接種をまき栽培するという方法。初めての試みなので、ちゃんと芽が出て、しっかり育ってってくれるのだろうか、とちょっと心配。

耕運機で軽く土を砕き、低い畝をつくり、種と種の間を50cm、一か所に2粒ずつ、畝の長さは約10m、畝数は18本。種総数720粒ほどを2時間半かけて蒔きました。明日は雨降りの天気予報に、水撒き作業はいらぬな、とホッと胸をなでおろす。（嵯峨）

■「会員のつどい」でハト麦粉入りクッキー試食



5月11日（日）午後1時より、第1回「会員のつどい」に5人が集まり、よもやま話をしながらハト麦粉入りクッキーを試食。ハト麦を細かく粉砕した後に篩（ふるい）にかけて硬い殻を取り除いたことで、食感が改善され、「口の中にツブツブ感が残らなくなった」と好評でした。試行錯誤はまだ続きます。（嵯峨）

■「エコフェスタ比企」でハト麦パンケーキが好評



▲お友だちとハト麦粉入りパンケーキのお店を出したよ

5月24日（土）、エコフェスタ比企イベントを開催。心配した天気は曇り空で上々。出店は住民自治会のバザーのほか小物、手作り品、苗木・草花など8店舗。ハト麦粉を使ったパンケーキとナチュラル飲料のセット販売（100円）。これが大好評で商品化に弾みが付きそうです。かわせみ文庫の文庫新書もそれなりに売れて、スタッフはお昼のカレーライスを食べ、楽しい1日でした。

■全国植樹祭に鳩山町枠で副代表が参加



5月25日（日）に開催された第75回全国植樹祭へ、これまでの活動が認められ、鳩山町の枠の一人として招待していただきました。全国植樹祭とは、豊かな国土の基

盤である森林・みどりに対する国民的理解を深めるために、公益社団法人国土緑化推進機構と都道府県の共催により開催する国土緑化運動の中心的行事で、県内外から3500人も多くの参加者があり、式典行事と共にアラカシ、シラカシ、スタジイ、アカシデ、イタヤカエデ、イロハモミジ、ケヤキ、コナラ、クヌギ、エゴノキ、ヤマザクラ、ヤマツツジ、ヤマボウシ等の記念植樹が行われる大きなイベントです。

埼玉県での開催は66年ぶりとなり、“人・森・川つなげ未来へ 彩の国”をテーマとして、森林資源の活用、木材の利用拡大を図る「活樹」を推進し、埼玉県の多彩な森林を次世代へと繋げていくことを示す大会となりました。記念式典で天皇陛下が「林産物の利用だけでなく水源の保全や、多くの生き物の生息地の提供、生物の多様性を守っている点も森林の恩恵の一つ」という主旨のことを話されていたのが印象的でした。（結偉）

第75回全国植樹祭（埼玉県特設HP）<https://www.pref.saitama.lg.jp/shokujusai/gaiyo/about.html>

5月の活動報告

■ 2024年度総会で議案のすべてが承認



5月18日（日）午前9時半より、かわせみハウスで、2024年度（令和6年度）総会を定款にある要件（委任状を含む出席者数の定数、議長選出、議事署名人の選出）を満たし、定刻に開催されました。

1号議案「2024年度事業報告書」と「2024年度収支決算報告書」について審議し、「監査報告書」の報告後、満場一致で承認されました。

2号議案「2025年度事業計画書」と「2025年度収支予算書」も審議を経て満場一致で承認され、今後は事業を「熊井の森／自然共生保全事業」と「熊井の森／自然共生こもれびファーム事業」の2つに大きく分けて実施することとなります。具体的な事業は『通信41号』を参照ください。

3号議案「2025年度から2年間の役員」についても満場一致で承認され、下記の陣容で活動していくことになりました。

理事 愛場 謙嗣（再任）
理事 愛場 結偉（再任）
理事 下川 敬明（再任）
理事 嵯峨千代美（新任）
理事 瓜生敬三郎（新任）
理事 井田 清（新任）
監事 鈴木 勝行（新任）

なお、総会の後、理事会を開催し互選により、代表理事に愛場謙嗣、副代表理事に愛場結偉が選任されました。

■ ホームページのリニューアルに向けて勉強会

5月25日（日）午後1時より、懸案の環境フォーラムのホームページの刷新に向けての集中勉強会を、当団体のHP運用を契約しているサーバー運営者の水村賢治さんを講師に迎えて開催しました。

参加者は6人。理事4人とHP運用担当チームの2人です。ネットワークの仕組み、HPのページ構成、運用ソフトのWordPressで出来ること、管理者にしかできないこと、投稿（記事の更新）の仕方などを解説していただきました。とは言ってもどこまで理解できたかは心もと

「熊井の森」の仲間たち

隈本由夏さん

くまもと・ゆか 三重県出身 女優をしながら都内でタクシードライバーとして活動しています。高知県立大学卒業後管理栄養士を取得。長野県で2年間地域おこし協力隊として活動。日本ジオパークについての広報や教育を担当していました。現在、演劇ユニットアイオライトのメンバーとして「#0230プロジェクト」を進行中。同じ世界線で紡がれる5つの映像作品と1つの舞台を作っています。鳩山では、環境フォーラムの共同菜園の畑をお借りして、作物を栽培したり、鳩山の風景を生かして、ショートフィルムを作成中です！



ないのですが、とりあえず、全体の雰囲気はつかめたかも。あとは実践のみ。われわれで出来ることは頑張っただけでも、「手に余れば、やってあげますよ」とのこと。感謝です。早速、環境フォーラムのHPの一部はリニューアル済みですので、覗いてみてください。

ちなみに、水村さんは熊井の森の裾野で、子どもたちと自然の中で一緒に遊ぶ活動を続けている「木こりクラブ」のメンバーです。これからもよろしく。



口元がピンク色に染まった！ 桑の実



小満（しょうまん 5月21日から6月4日まで）を過ぎると、小麦は収穫時期を迎えます。小麦畑の横の桑の実もだんだん熟してきて、あっという間に鳥さんの餌になることでしょう。

鳩山町ではあちこちで桑の木を見かけます。赤沼のほうにはいまだに桑畑が残っていますが、おそらくお蚕さんはもういないでしょう。昭和時代には養蚕業が大変普及して、桑畑は地図記号にもなっていました。その後養蚕業が衰退して、ところどころに残された桑の木は昔の暮らしを思わせます。

実は、桑の木には様々な薬用価値があります。桑の根は桑白皮、葉は桑葉、果実は桑椹（そうじん）と言います。どちらも貴重な生薬であり、効能として鎮咳・倦怠疲労・不眠症などの症状に効くとされていて、ドラッグストアでは桑の葉のお茶を販売しています。

私にとって一番手軽に美味しくいただけるのは桑の実です。黒い宝石みたいな実を摘んできたら、水できれいに洗って口に入れると、甘い味が口の中にじゅわっと広がります。上手に食べないと、口元がピンク色に染まっちゃいますので、要注意。桑の実ジャムは独特な風味がして、ヨーグルトにもピッタリです。桑の実は6月中旬まで採れますので、もし出会ったら、ぜひ手に取って味わってみてください。（王 菲）

活動後記

■熊井の森／自然共生保全活動は野鳥の営巣時期に配慮して、本格的な草刈りやピオトープづくりなどは9月までお休み中です。それまでは自然共生こもれびファーム事業に集中していますが、熊井の森に向かう途中、毛呂神社前にある「明泉の井戸」をご存知ですか。3・11の地震の後、水の確保の必要性を強く感じた地元の方が掘った井戸で、だれでも自由に井戸水を汲め、こもれびファームの畑の水やりに使わせていただいています。有難いですね。（ケンジ）



森の中へ

自然にふれ、生きものから学ぶ月例散策便り 15

見た目はタヌキで 実はイタチの仲間なのに…



▲ムジナの別名もあるアナグマ

4月から仕掛けていた赤外線自動撮影装置に、今回とうとうアナグマが映りました！

アナグマは名前に“クマ”と付いていますが、実はイタチの仲間、見た目はタヌキに似ています。歩く姿も独特で、モコモコとあまりスマートではない歩き方をしています。このいきものは穴掘りがとても得意で、地下で複雑につながった巣穴をほり、出入り口は複数あります。ムジナという別名もあるのですが、この名前はタヌキやハクビシンなどの中型の四つ足をごっちゃにして呼ぶ名で、アナグマだけを指す名前ではありません。

また、複雑な巣穴の使っていない部分にタヌキが住みつくこともあるそうで、確かに同じカメラにタヌキとアナグマが別々に写っていることもあり、まさに“同じ穴のムジナ”として認識が混ざってしまうのも納得です。

今回回収したカメラデータには、アナグマの他にもタヌキの夫婦やニホンジカ、イノシシ、ハクビシン、アライグマなどの動物が映っており、普段見ることが難しい生き物の様子を観察することが出来ました。（愛場結偉）

定例観察会のご案内

開催日：毎月第3日曜日
 集合場所：かわせみハウス前
 集合時間：午後1時半
 （終わりは午後3時過ぎごろ）



興味のある方はどうぞお気軽にお越しください。鳩山ニュータウン内かわせみハウス前に午後1時半に待ち合せて、相乗りで熊井の森に向かい、帰りも一緒できます。

はとやま環境フォーラムHP➡

